

課程	地域等	設置者	学校名	所在地	教員数	生徒数	うち他離島出身者	学級数	学科名
全日制 実業高校		沖縄県	北部農林	名護市	47	500	4	15	熱帶農業、園芸工学、林業緑地、生活科学、食品科学
		沖縄県	中部農林	うるま市	47	577	3	15	熱帶資源、食品科学、造園、園芸科学、福祉
		沖縄県	南部農林	豊見城市	46	528	7	15	食料生産、生物資源、食品加工、環境創造、生活デザイン
		沖縄県	八重山農林	石垣市	38	271	15	12	アグリフード、グリーンライフ、フードプロデュース、ライフスキル
		沖縄県	名護商工	名護市	54	427	4	15	機械システム、電建システム、総合情報、商業、地域産業(地域創生・観光)
		沖縄県	美来工科	沖縄市	72	814	2	24	機械システム、自動車工学、電子システム、土木工学、ITシステム、コンピュータデザイン
		沖縄県	美里工業	沖縄市	58	785	3	21	機械、電気、建築、設備工業、調理
		沖縄県	浦添工業	浦添市	62	702	19	21	情報技術、調理、インテリア、デザイン
		沖縄県	那霸工業	浦添市	61	570	9	21	機械、自動車、電気、グラフィックアーツ、服飾デザイン
		沖縄県	沖縄工業	那覇市	74	896	48	24	建築、土木、工業化学、電子機械、情報電子、生活情報
		沖縄県	南部工業	八重瀬町	30	231	1	9	機械、電気、建築設備
		沖縄県	宮古工業	宮古島市	35	159	3	9	自動車機械システム、電気情報、生活情報
		沖縄県	八重山商工	石垣市	43	370	8	12	商業、機械電気、情報技術
		沖縄県	具志川商業	うるま市	41	552	2	15	リゾート観光、オフィスビジネス、ビジネスマルチメディア、情報システム
		沖縄県	中部商業	宜野湾市	53	768	6	21	総合ビジネス、情報ビジネス、国際ビジネス、生涯スポーツ
		沖縄県	浦添商業	浦添市	54	725	26	21	国際観光、総合ビジネス、情報処理
		沖縄県	那覇商業	那覇市	66	1,061	28	27	商業、情報処理、会計、国際経済
		沖縄県	南部商業	八重瀬町	39	347	1	12	OA経理、流通ビジネス、情報ビジネス
		沖縄県	宮古総合実業	宮古島市	54	442	4	15	生物生産、生活福祉、商業、海洋科学、食と環境
		沖縄県	沖縄水産	糸満市	68	693	50	18	海洋技術、総合専攻科(漁業、機関、無線通信)

○定時制・通信制高等学校

課程	設置者	学校名	所在地	教員数	生徒数	うち他離島出身者	学級数	学科名
定時制		定時制(7校)		143	1,074	15	53	※ 泊高校を除く6校は全日制との併課程
		沖縄県	コザ	沖縄市	12	163	0	4 商業
		沖縄県	北部農林	名護市	12	62	1	4 農業
		沖縄県	中部農林	うるま市	11	118	1	4 農業
		沖縄県	那覇工業	浦添市	29	172	2	12 電気、機械、電子機械
		沖縄県	八重山商工	石垣市	14	59	1	4 商業
		沖縄県	那覇商業	那覇市	12	62	1	4 商業
通信制		泊	泊	31	317	6	13	普通(午前)
				22	121	3	8	普通(夜間)
		通信制(6校)		406	22,157	139	22	
		沖縄県	泊	那覇市泊	30	1,170	70	14 普通
		沖縄県	宜野湾	宜野湾市	10	245	2	8 普通
		八洲学園	八洲学園大学国際	本部町	15	1,237	39	- 普通
		佐藤学園	ヒューマンキャンパス	名護市	108	3,865	4	- 普通
		角川・ワング学園	N(エヌ)	うるま市	220	14,869	23	- 普通
		つくば開成学園	つくば開成国際	那覇市	23	771	1	- 普通

【各データの出典等】

設置者、学校名、所在地、教員数、生徒数、学科名・・・沖縄県教育委員会 HP「学校一覧」

他離島出身者（県立学校）・・・沖縄県教育庁県立学校教育課

他離島出身者（私立学校）・・・沖縄県教育庁総務私学課（高校入学者のみ。昭和薬科大学付属高校は高校入学の募集無し）

※注意点

通信制高校のうち、泊高校、宜野湾高校以外の教員数、生徒数には沖縄県外の者も含まれている。

現時点で不明・公表不可のデータについては、斜線「-」となっている。

また、学校以外での人々の学習活動の拠点となる博物館、美術館、図書館といった社会教育施設について、沖縄県内各市町村の整備状況は以下のとおりとなっている。

図表 3 図書館、博物館、美術館の整備状況

市町村	図書館	博物館・美術館	計	市町村	図書館	博物館・美術館	計
那覇市	8	10	18	嘉手納町	1	1	2
宜野湾市	1	2	3	北谷町	1		1
石垣市★	1	11	12	北中城村	1	1	2
浦添市	1	1	2	中城村	1		1
名護市	1	2	3	西原町	1	2	3
糸満市	1	3	4	与那原町	1	1	2
沖縄市	1	5	6	南風原町	1	1	2
豊見城市	1	4	5	渡嘉敷村★		1	1
うるま市★	3	3	6	座間味村★			0
宮古島市★	2	4	6	粟国村★			0
南城市★	4	2	6	渡名喜村★			0
国頭村		1	1	南大東村★		2	2
大宜味村			0	北大東村★		1	1
東村		1	1	伊平屋村★		1	1
今帰仁村	1	1	2	伊是名村★		2	2
本部町★	1	6	7	久米島町★		5	5
恩納村	1	2	3	八重瀬町★		2	2
宜野座村	1	1	2	多良間村★	1	1	2
金武町	1		1	竹富町★		3	3
伊江村★		2	2	与那国町★		1	1
読谷村	1	1	2	合計	38	87	125

★・・・離島所在（離島を有する）市町村

出典：図書館・・・令和2年度 沖縄県立図書館要覧【沖縄県立図書館】
博物館・美術館・・・文化財課要覧（令和2年度版）【沖縄県教育厅文化財課】

なお、社会教育施設については、上記の施設内で提供されるものだけではなく、図書館未設置町村等の住民に読書機会を提供するため、沖縄県立図書館が「空とぶ図書館」（移動図書館）を開催しているほか、沖縄県立博物館において、離島や遠隔地の方々にも博物館の展示を観覧してもらうことなどを目的として、県内各地に会場を設定して移動展を開催している。

他にも、沖縄県生涯学習推進センターが実施する生涯学習プログラムである沖縄県民カレッジにおいては、美ら島沖縄学講座の一環として各離島で離島講座を実施するなど、生涯学習機会の提供を行っている。

図表 4 離島における移動図書館、移動展、離島講座の開催状況

1. 沖縄県立図書館移動図書館開催実績

年度	回数	貸出人數	貸出冊数	開催地
平成27年度	37	1,857	12,745	八重山15回、本島周辺22回
平成28年度	41	1,857	15,540	八重山15回、宮古1回、本島周辺25回
平成29年度	41	2,126	17,358	八重山14回、宮古1回、本島周辺26回
平成30年度	24	1,207	9,538	八重山9回、宮古1回、本島周辺14回
令和元年度	39	2,381	18,234	八重山17回、本島周辺22回

2. 沖縄県立博物館・美術館移動展開催実績

年度	開催日	来場者数	開催地
平成27年度	10月9日～10月11日	508	伊是名村
平成28年度	12月16日～12月18日	450	座間味村
平成29年度	2月23日～2月25日	328	北大東村
平成30年度	1月18日～1月20日	448	伊平屋村
令和元年度	1月31日～2月2日	910	伊江島

3. 沖縄県民カレッジ（離島講座）開催実績

年度	来場者数	開催地
平成29年度	22	竹富町（西表島）
	71	伊是名村
	34	北大東村
平成30年度	51	竹富町（波照間島）
	70	多良間村
令和元年度	20	与那国島
	10	久米島

【出典】

1. 沖縄県立図書館移動図書館開催実績
沖縄県立図書館ホームページ
(<https://www.library.pref.okinawa.jp/library/cat1/index.html>)
2. 沖縄県立博物館・美術館移動展開催実績
沖縄県立博物館調べ
3. 沖縄県民カレッジ（離島講座）開催実績
沖縄県教育庁生涯学習振興課ホームページ
(<https://www.pref.okinawa.jp/edu/shogaigakushu/suishin/102.html>)

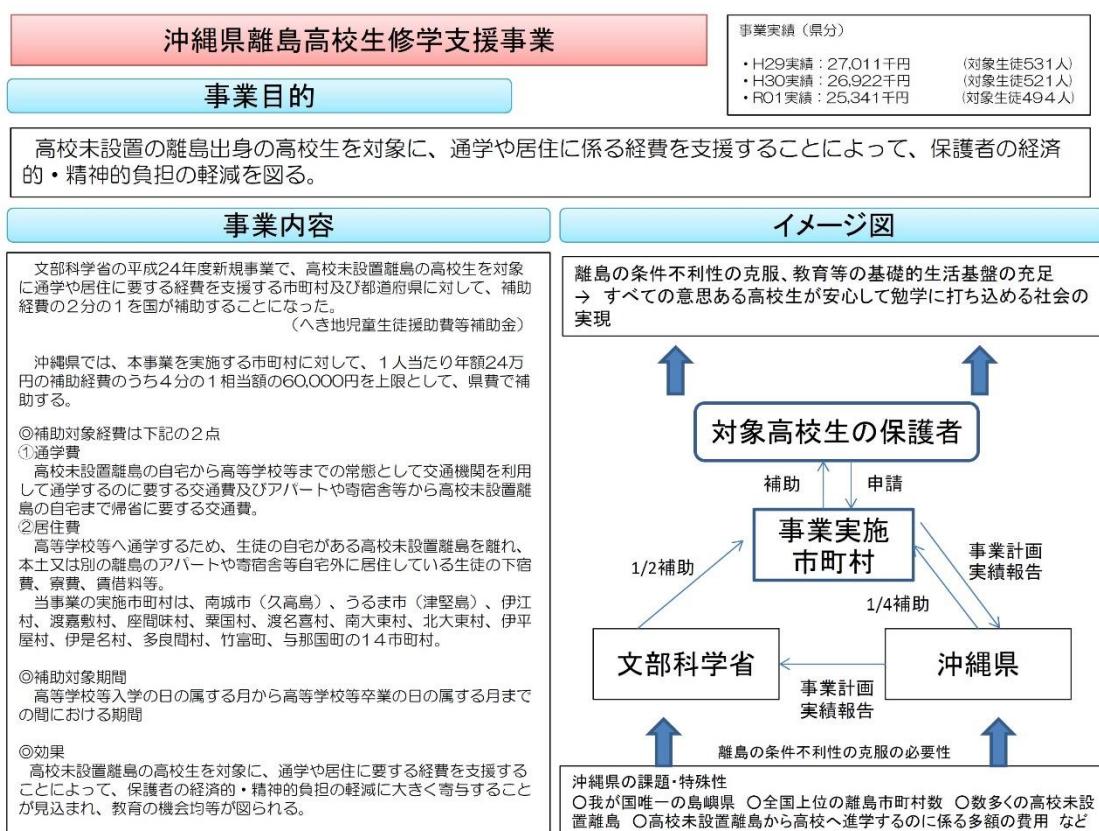
第2節 沖縄県における高校教育の現状

高校進学を機に島を出る生徒に対して現在実施されている支援策として、「奨学金等の給付・貸与」と「学生寮の設置」がある。

2-1 奨学金等の給付・貸与

高校未設置の離島出身の高校生について、通学や居住に係る経費を支援するため、沖縄県内の市町村が年額24万円（月額2万円）以内を支給している（国1/2、県1/4負担）（図表5参照）。

図表5 沖縄県離島高校生修学支援事業



本事業を活用した市町村の事業費及び支給人数は、以下図表 6 のとおり。

図表 6 各市町村の事業費³（沖縄県離島高校生修学支援事業）（令和元年度）

市町村名	事業費	支給人数
うるま市	1,680 千円	7 人
南城市	832 千円	4 人
伊江村	24,914 千円	120 人
渡嘉敷村	2,470 千円	13 人
座間味村	4,420 千円	19 人
粟国村	5,658 千円	25 人
渡名喜村	1,680 千円	7 人
南大東村	6,247 千円	28 人
北大東村	3,357 千円	15 人
伊平屋村	9,395 千円	46 人
伊是名村	8,435 千円	36 人
多良間村	11,131 千円	47 人
竹富町	12,815 千円	86 人
与那国町	8,375 千円	41 人

³ 沖縄県離島高校生修学支援事業の補助対象事業費及び人数（沖縄県教育支援課まとめ）

また、市町村独自による奨学金貸与等の事業には、以下のような例がある。

図表 7 離島の市町村単独事業による奨学金貸与等の事業

市町村名	事業名	事業費	事業内容	支給人数
伊江村 (伊江村人材育成会)	伊江村人材育成奨学金貸与事業(R元年度)	7,680千円	高校のない離島出身者が、沖縄本島の高校に進学するための奨学金を無利息で貸与。 上限4万円/月	16人
	伊江村人材育成入学準備金貸与事業(R元年度)	1,800千円	高校のない離島出身者が、沖縄本島の高校に進学するための入学準備金を無利息で貸与。 上限30万円	6人
粟国村	高校在学支援補助金(R元年度)	276千円	保護者の定期的な居宅支援及び教育環境の見回りを支援することにより、中途退学を防ぎ、保護者の経済的負担の軽減を図る。 保護者1人分の月1回のフェリー往復運賃を補助。	12人
竹富町	離島高校寮生修学奨励事業(R元年度)	7,093千円	寮生活をおくる生徒に対して寮費のうち食費の半額補助。	60人
伊是名村 (伊是名村育英基金)	伊是名村育英基金奨学金貸与事業(R元年度)	5,160千円	沖縄本島の高校に進学するための奨学金を無利息で貸与。 専門学校及び高等学校に在学する者 上限5万円/月。 短期大学及び大学院に在学する者 上限7万円/月。	5人
	伊是名村育英基金奨学金給付事業(R元年度)	590千円	高校等修学のために必要とされる居住費に相当する経費を給付。上限240千円	1人
南大東村 (南大東村育英会)	南大東村貸給費事業(R元年度)	13,538千円	県内及び、県外の高校に進学するための奨学金を無利息で貸与する。 県内高校に進学する場合は上限18万円。 県外の高校に進学する場合は上限24万円。	0人
	南大東村貸給費事業(R2年度)	16,609千円	県内及び、県外の高校に進学するための奨学金を無利息で貸与する。 県内高校に進学する場合は上限24万円。 県外の高校に進学する場合は上限30万円。	1人

座間味村	座間味村離島高校生船舶運賃補助事業（R元年度）	584千円	本村中学校を卒業し、高等学校へ就学した生徒が帰省する際の船舶運賃の負担を軽減し、各島の伝統行事や、母校の行事に参加しやすい環境をつくるため、船舶運賃について年4回を上限に離島高校生船舶運賃補助金を交付する。	22人
------	-------------------------	-------	---	-----

このほか、民間企業や公益財団法人が行う給付型・貸与型の奨学制度もある。⁴

2-2 学生寮の設置

沖縄県では、高校のない離島出身者等の遠隔地出身者の負担等を軽減するため、一部の県立高校に寄宿舎（学生寮）を併設するとともに、寄宿舎（学生寮）と小・中・高校生の交流拠点としての機能を併せ持つ施設を整備している。

前者（高校併設寄宿舎）には、以下のものがあり、760人の高校生が入寮することができる。

設置の趣旨に鑑み、低廉な費用負担で生活を送ることができるよう費用負担が設定されており、1か月当たり3万円程度（食費2万円・維持費1万円）の費用負担で生活できる。

⁴ 沖縄セルラー電話㈱が高校未設置離島出身の高校生の携帯電話機種代金と毎月の利用料を給付するものや、（公財）沖縄県人材育成財団が給付・貸与する奨学金などがある。

図表 8 県立高校寄宿舎（令和2年度）

○沖縄県 県立高等学校寄宿舎一覧

名 称	所在地	部屋数	収容定員
辺土名高等学校 北星寮	大宜味村	50	50
北山高等学校 学寮	今帰仁村	40	80
名護高等学校 学生寮	名護市	36	72
宜野座高等学校 青雲寮	宜野座村	9	18
沖縄工業高校 学寮	那霸市	12	24
向陽高等学校 国南寮	八重瀬町	50	100
開邦高等学校 青藍寮	南風原町	102	204
沖縄水産高等学校 黒潮寮	糸満市	52	104
八重山農林高等学校 寄宿舎	石垣市	8	16
八重山商工高等学校 学寮	石垣市	16	32
八重山高等学校 学寮	石垣市	30	60
合計		405	760

また、生徒の寄宿舎（学生寮）と小・中・高校生の交流拠点としての機能を併せ持つ施設として、那霸市内に定員 120 名の学生寮である「沖縄県立離島児童生徒支援センター 群星（むるぶし）寮」が設置されている。

群星寮は、高校のない離島の中学校を卒業し、寮が設置されていない高校へ入学した生徒を対象としており、1か月当たり 3.7 万円程度（使用料 1.9 万円・食材費 1.8 万円）で生活を送ることができ、現在、17 市町村出身の 107 名の生徒が寮から 18 校に通学している。

このほか、北部には「名護市県立高等学校北部合同寄宿舎 さくら寮（所在地＝名護市、部屋数 60、収容定員 60）」も設置されている。